

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2003 年 1 月 30 日 (30.01.2003)

PCT

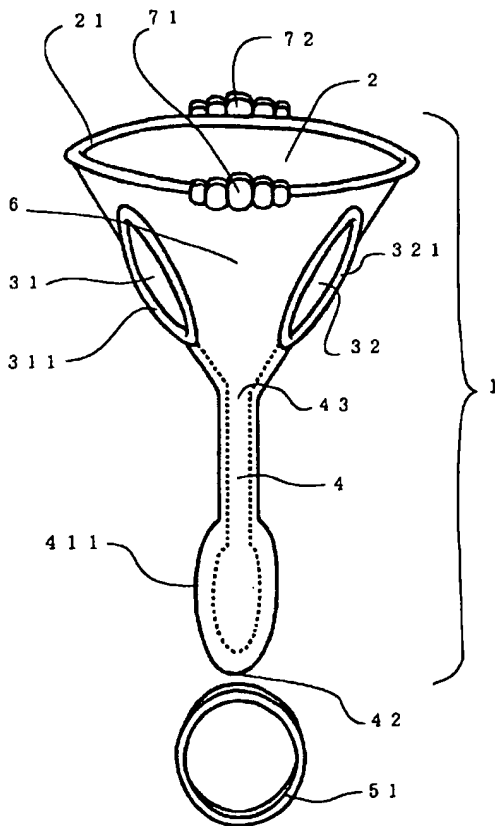
(10) 国際公開番号
WO 03/007859 A1

- (51) 国際特許分類⁷: A61F 6/06 (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (21) 国際出願番号: PCT/JP02/06676
- (22) 国際出願日: 2002 年 7 月 2 日 (02.07.2002)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2001-217454 2001 年 7 月 18 日 (18.07.2001) JP
- (71) 出願人 および
- (72) 発明者: 酒井 正雄 (SAKAI, Masao) [JP/JP]; 〒292-1147 千葉県 君津市 塚原 1 3 9 番地の 6 Chiba (JP).
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR), OAPI 特

[続葉有]

(54) Title: WOMAN-INSTALLED CONDOM

(54) 発明の名称: 女性装着型コンドーム



(57) Abstract: A woman-installed condom, wherein two holes (31, 32) are formed in the side faces near the opening part (2) of a bag-like body (1) formed of a thin film of extendable and soft material and having an opening part (2) at the upper part, the lower part of the bag-like body (1) is formed in a tubular body (4) insertable into a vagina, a positioning ring (51) in the vagina is disposed, the entire shape of the bag-like body (1) is formed in a funnel shape, a reinforcement material (21) by extendable and soft rubber-like ring is formed around the bag-like body opening part (2), the reinforcement materials (311, 321) by the same extendable and soft rubber-like rings are installed also around the holes (31, 32) in the conical body side faces, a front wind-up device (71) and a rear wind-up device (72) are fitted to the reinforcement material (21), the upper part of the bag-like body (1) is formed in a conical body (6) and a reinforcement means (41) disposed in the lower tubular body (4) and suppressing the expansion is formed of a cloth-like thin film (411), threads, chords (412), or bands (413) of soft material can be disposed, as the reinforcement means (41), in a spiral or a net shape, and thin grooves (415, 416, 417) are formed in the chords (412) or bands (413).

[続葉有]

WO 03/007859 A1



許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(57) 要約:

伸縮性に富む柔軟な材質の薄膜で形成された、上部に開口部 2 を設けた袋状体 1 の、開口部 2 近くの側面に 2 カ所の孔 3 1・3 2 を形成し、袋状体 1 の下部を腔内挿入可能な筒状体 4 とし、腔内の位置固定リング 5 1 を配する。

袋状体 1 の全体の形状をロート状に形成し、袋状体開口部 2 の周囲には、伸縮性に富み柔軟なゴム状の輪による補強材 2 1 を形成し、円錐体側面の穴 3 1、穴 3 2 の周囲にも同様の伸縮性に富み柔軟なゴム状の輪による補強材 3 1 1・3 2 1 をそれぞれ設ける。補強材 2 1 には前部の巻き取り具 7 1 及び後部の巻き取り具 7 2 を設ける。

袋状体 1 の上部を円錐体 6 とし、下部の筒状体 4 に配した伸縮を押さえる補強手段 4 1 を布状薄膜 4 1 1 とする。補強手段 4 1 として柔軟な素材による糸、紐 4 1 2 あるいは帯 4 1 3 を、螺旋もしくは網目状に配すことが可能である。紐 4 1 2 あるいは帯 4 1 3 に細い溝 4 1 5・細い溝 4 1 6 及び細い溝 4 1 7 を形成する。

- 1 -

明 細 書

女性装着型コンドーム

5 技術分野

本発明は女性が装着するコンドームに関するものであり、装着時に快感を損なうことなく自然な感触を確保し、避妊に関する安全性を向上させると共に、使い勝手がよく、接触性感染症の予防効果を高める女性装着型コンドームに関するものである。

10

技術的背景

従来の女性が装着するコンドームは、合成樹脂の薄膜による袋の開口部切断面に沿って硬度のある弾性体で成形されたリングを取り付け、袋内に弾性体で成形された膣内部固定用のリングを配したものであり、一般的男性装着型コンドームに比べ伸縮性に乏しく厚手の素材が使用されている。

前記素材の特性はリングを使った固定方法に於いて一定の強度を保つために求められる特性であり、この素材を使用した女性装着型コンドームは、伸縮性に乏しく厚手であるということによる使用感の不自然さがあった。

20

又、ペニス挿入口周辺に当たる袋体開口部に補強及び陥没防止用の大きなリングを形成していることは、ペニスを誤ってコンドームの外であるコンドームと膣壁の間に挿入することや、使用時に膣内にコンドームが押し込まれることを避けるために求められる形状であるが、前記のリングの部分が膣外に露出し、ぶら下がって、異物感が有り、著しく快感を損なうものであった。

25

- 2 -

前記に係る特許・実用新案の出願は、日本国特許及び実用新案の
①実開昭50-94790、②実開昭52-99697、③実開昭59
-137714、④実開昭60-30213、⑤実開昭63-1540
19、⑥実開昭64-17225、⑦特開平2-144057、⑧特開
5 平4-502710、⑨実開平4-133821、⑩特開平9-194
54、⑪特開平10-243956と数が多い。

ここに挙げた出願はコンドームの形状と材質との関係、および使用感
について言及されていない。形状から規定される材質および材料の厚み
が、堅かったり厚かったりした場合には、使用感が不自然で使い心地の
10 悪いものにならざるを得ない。

これらの出願が、従来一般的に市販されている女性着用型コンドーム
と違って特徴づけられる点の一つは装着方法にあり、大きくはA：不織
布あるいはゴム製のパンツにコンドームを取り付けたもの、B：紐・バ
ンドを大腿部あるいは腰に結んで固定するもの、C：コンドームの膣よ
15 り外部に露出した部分を広げて接着片とし、接着剤等により固定するも
のに分けられる。

Cとして挙げた接着片を有する女性着用型コンドームでは接着片の形
状を安定させるために別の素材と接合する必要がある。一体成形にする
場合には材質にある程度の硬度を持たせるか接着剤を塗布する部位を
20 かなり厚く成形する必要がある、接着片を体に張りつけることから使用
感にも不自然さが生じる。

潤滑剤塗布の作業と、糊付け、剥離紙の張り付けなどの作業が必要と
なることから合理的な方法とはいえない。腹部、臀部への張りつけも面
倒である。

25 Bとして挙げたバンド、紐を使った固定方では、引っ張りの方向及び
力加減が膣開口部から外側へむかって360度均一に保つことが難し

く、偏りを生じやすい。また、紐あるいはバンドとコンドームの接合点には力が加わることから、材質にある程度の硬度を持たせるか、紐やバンドと接合する部位をかなり厚く成形するか、もしくは一部を別の材質に置き換える必要が生じる。又、使用中の位置固定能力も低く、安定して位置を固定できない。

Aとして挙げたパンツに取り付ける方法では、パンツのサイズは個人差が大きく、複数のサイズを用意する必要が生じると共に、パンツそのものの製作に費用もかかる。又、パンツを着用したままの性交と同じであり、使用感も悪い。装着者の体型による膣開口部の、身体に於ける相対的位置関係の違いにも十分対応できるものではない。

着用者の体型によって、膣の開口部の位置が、身体全体の中の相対的位置関係において変化するがこのことについて言及されたものがない。

パンツがゴム製であった場合はサイズに柔軟性が生じるが、一般的なパンツの形状であるとするればコストが大きくなる。また、体型による膣開口部の位置の違いに対応できない点は布製パンツと同様である。

ゴム製パンツにコンドームを取り付けたものの出願はあるがコンドームの開口部を大きく引き伸ばして着用可能にしたものは見られない。コンドームを引き伸ばして着用可能にした方が製作コストを節減し、使用感の優れた女性着用型コンドームが作成可能となる。

コンドームと接合された小さなゴム製パンツを引き伸ばして使用すれば前記課題は解決できるが、大きく引き伸ばして着用することを想定した出願はなされていない。

引き伸ばすためには材質に大きな伸縮性が要求される。つまり、膣内に挿入される筒状体にも大きな伸縮性を与えることになる。

筒状体が伸縮性の大きなゴム状の薄膜の場合、性交時に膣内分泌液の分泌にともない膣側から離れ、筒状体がペニスに張りつき挿入運動と共

にコンドームの筒状体が伸び縮みしながら膣内を移動することになって、男性着用型のコンドームの使用感と変わらなくなる。また、運動にともない破損の危険性も生じる。

5 女性着用型コンドームに於いて、いかに薄型化を図るか、又、薄型化した場合に材質の強度をいかに保つか、薄型化を図った場合に、膣内に於いてコンドームの位置のずれを防ぎ、変形することを防いで形状をいかに保つかという点が重要であるが、これについて言及されたものがない。以上の理由により、女性装着型コンドームは十分には普及していない。

10

発明の開示

本発明は、伸縮性に富む柔軟な材質の薄膜で成形された上部に開口部を設けた袋状体であり、この開口部近くの側面に2カ所の穴を形成し、袋状体下部を膣内挿入可能な筒状体とし、膣内固定具を配してある女性
15 装着型コンドームとする。

このことにより、コンドーム開口部を押し広げて両脚を入れ、側面に設けた二つの孔のそれぞれから脚を出して腰まで引き上げ、筒状体を反転させて、膣内固定具と共に膣内に挿入する。このことで、コンドームが膣外でも体に密着し、膣開口部周辺に異物がぶら下がるということが
20 無くなる。

前記筒状体の全体もしくは一部に伸縮を押さえるための補強手段を配する。このことで筒状体の伸縮性がおさえられることから、膣内に分泌液が分泌されて滑りが良くなっても、コンドームが膣から離れペニスに張りついて伸び縮みしながら膣内を移動するということが無くなる。

25 前記の、伸縮を押さえるための補強手段を布状薄膜とする。製造の過程に於いて、コンドームの一部に布状薄膜を張り付けることは容易であ

- 5 -

り、膣挿入部の伸縮性を押さえた女性装着型コンドームが容易に製造できる。

又、少なくとも、コンドーム装着時に於ける、筒状体の膣開口部に位置する付近をロート状に形成する。このことにより、コンドーム開口部
5 を大きく引き伸ばして着用しても、引き伸ばす力が膣開口部付近には及ばず、膣開口部から膣内部にかけて無理な力を与えることが無くなる。

前記、袋状体の開口部に袋状体を巻き取るための巻き取り具を配する。巻き取り具によって袋状体の前部あるいは後部を端から巻き取ることにより、身体の膣開口部の位置とコンドームのペニス挿入口の位置を
10 合わせるための調節が可能となり、使い勝手の良いコンドームとすることが出来る。

次の実施例として膣に挿入する筒状体の胴部に、柔軟な素材による糸、紐あるいは帯を、螺旋もしくは網目状に配する。前記紐あるいは帯が、膣内壁との摩擦抵抗を高め、膣内でのコンドームの移動を押さえる。
15

前記の紐あるいは帯に長手方向に切れ込みを入れて細い溝を形成する。前記の細い溝が、膣内の分泌液を吸収し、膣外に押し出す働きをするため、紐あるいは帯と膣内壁との摩擦抵抗を高め、膣内でのコンドームの移動を押さえる。
20

【図面の簡単な説明】

第1図は本発明の好ましい実施例1全体の形状を示す斜視図である。

第2図は図1に示した実施例1全体の側面を示す斜視図である。

第3図は装着時に於ける形状を斜視図で示した想像図である。

25 第4図は筒状体の膣内への挿入の仕方を示す、斜視図による想像図である。

- 6 -

第 5 図は実施例 1 に於ける筒状体の一部断面を含む斜視図による拡大図である。

第 6 図は実施例 1 に於ける筒状体の断面図である。

5 第 7 図は実施例 2 に於ける筒状体の一部断面を含む斜視図による拡大図である。

第 8 図は実施例 2 に於ける筒状体の断面図である。

第 9 図は実施例 3 に於ける筒状体の断面図である。

第 10 図は実施例 4 に於ける筒状体の断面図である。

第 11 図は実施例 5 に於ける筒状体の断面図である。

10

発明を実施するための最良の形態

本発明をより詳細に説述するために、添付の図面に従ってこれを説明する。第 1 図は伸縮性に富む柔軟な材質の薄膜で形成された上部に開口部 2 を設けた袋状体 1 の、開口部 2 近くの側面に 2 カ所の孔 3 1・3 2
15 を形成し、袋状体 1 の下部を膈内挿入可能な筒状体 4 とし、膈内の位置固定具 5 を配してある女性着用型コンドームの好ましい形状を示した全体の斜視図である。

袋状体 1 の全体の形状をロート状に形成し、上部を円錐体 6 とし、下部の筒状体 4 の内部に配した伸縮を押さえる補強手段 4 1 を布状薄膜 4
20 1 1 とした場合の構成を示したものである。

本体である袋状体 1 は伸縮性に富むゴム状の薄膜で形成され、主に、円錐体 6 と筒状体 4 によって構成される。円錐体 6 の側面の 2 カ所に穴 3 1、3 2 を開け、下部にのびた筒状体 4 の先端 4 2 を閉じる。

袋状体開口部 2 の周囲に伸縮性に富み柔軟なゴム状の輪による補強材 2 1 を形成し、円錐体側面の穴 3 1、3 2 の周囲にも同様の伸縮性に富み柔軟なゴム状の輪による補強材 3 1 1・3 2 1 をそれぞれ設ける。
25

- 7 -

装着時において身体の膣開口部に位置するコンドームの部位をペニス挿入口 4 3 とし、筒状体 4 の先端 4 2 には膣内部に於けるコンドームの膣内の位置固定用具 5 である位置固定用リング 5 1 を配する。

5 位置固定用具 5 は筒状体 4 の内部に入れて膣内に挿入され、子宮を被うように配され、膣の奥の内壁に圧着する。実施例では位置固定用具 5 を位置固定用リング 5 1 とするが腕状体であっても同様の効果を得る。

膣に挿入する筒状体 4 の胴部側面には伸縮を押さえる補強手段 4 1 である布状薄膜 4 1 1 を帯状に配して、筒状体 4 がペニスとの摩擦やペニスへ張りついて膣内で滑動しようとして起こる伸縮と変形を防ぐ。

10 伸縮を押さえる補強手段 4 1 は使用時に於けるコンドームの外側、図 1 にあっては筒状体 4 の内部に形成される。伸縮を押さえる補強手段 4 1 を布状薄膜 4 1 1 として筒状体 4 の側面に張りつけることは製作工程上の無理が無く、比較的低コストで実現できる。筒状体 4 の一部を厚手に成形して伸縮を押さえる補強手段 4 1 とすることも可能である。

15 伸縮を押さえる補強手段 4 1 を施すことにより、袋状体 1 の材質として、伸縮性に富む柔軟な素材の使用が可能となり、使用感の向上が図れる。伸縮を抑える補強手段 4 1 が筒状体 4 の強度を高め、ペニスとの摩擦やペニスへの張りつきによってに生じる変形を防ぐことが出来る。筒状体 4 の伸縮を押さえることが可能となることから、円錐体 6 を膣外部の位置固定具とすることが可能となる。

円錐体 6 には装着のしやすさや身体の形を考慮したゆがみを持たせることが可能である。

25 第 2 図は図 1 に示した実施例 1 全体の側面を示す斜視図である。装着時における円錐体 6 の前部の長さ L 1、つまりペニス挿入口 4 3 から補強材 2 1 の前部 2 1 1 までの距離が、装着時における円錐体 6 の後部の

長さL 2、つまりペニス挿入口4 3から補強材2 1の後部2 1 2までの距離よりも短くなるように形成する。

袋状体開口部2の補強材2 1には装着時に於ける前部2 1 1と後部2 1 2にそれぞれ円錐体6を形成するゴム状薄膜を巻き取るための前部の
5 巻き取り具7 1及び後部の巻き取り具7 2を設ける。

装着時に円錐体6の前部(L 1)あるいは後部(L 2)を巻き取ることにより、身体の膣開口部とコンドームのペニス挿入口4 3の位置を一致させることが可能となり、位置を調節した後にペニス挿入部に当たる筒状体4を位置固定用リング5 1と共に膣内に押し込んで装着するため、
10 体型の違いによる膣開口部の身体に於ける相対的位置関係の違いに対応できる。

前部の巻き取り具7 1及び後部の巻き取り具7 2の両方を回転させて、円錐体6の前部(L 1)と後部(L 2)を同時に巻き取ることによって大きさを調節でき、サイズの適応性の幅も更に広がる。

15 第3図は装着時に於ける形状を斜視図で示した想像図である。使用に当たっては袋状体1の開口部2を引き伸ばして脚をいれ、袋状体1の側面に設けた二つの穴3 1、3 2のそれぞれから脚を出して、袋状体開口部2の補強材2 1を腰まで引き上げる。筒状体4は位置固定用リング5 1と共に膣内に挿入される。袋状体1の一部である円錐体6を引き延ばして装着することにより、装着時に於ける膣開口部の異物は存在しなくなる。又、膣開口部周辺がコンドームで被われるため、接触性感染症感染の可能性が極めて薄くなる。

袋状体1をロート状にした場合やペニス挿入口4 3周辺がロート状であった場合には、袋状体1を引き延ばして腰まで引き上げた状態では、
25 袋状体1が補強材2 1から筒状体4の方向に向かって順次引き延ばされるため、膣開口部に対応する部位つまりペニス挿入口4 3付近では引き

延ばされることが無く、装着時に膣開口部及び膣内部に対し無理な力を与えることがない。このことにより自然な着用感と使用感を得ることができる。

第4図は筒状体の膣内への挿入の仕方を示す、斜視図による想像図である。位置固定用リング51を指でつまんで押さえながら筒状体4を裏返すように膣内に押し込む。位置固定用リング51は膣内に於けるコンドーム内部でリングの形状を取り戻し、子宮を包むように位置し、膣内壁に圧着する。以上によりコンドームの膣内部の位置が固定され、円錐体6が臀部を包んで膣外部の位置を固定する。

10 以上のことから、伸縮性に富み柔軟でより薄い素材の使用が可能となって、自然な感触の女性装着型コンドームが実現できる。

第5図は実施例1に於ける筒状体の一部断面を含む斜視図による拡大図であり、膣に挿入する筒状体4の胴部側面に伸縮を押さえる補強手段41を帯状に配した例である。図は使用時を想定したものであり、筒状体4は図1の状態を反転した状態である。切断位置は第3図のXX線上である。補強手段41は布状補強材411とし、筒状体4の先端半分程度、つまり位置固定用リング51の設置される周辺にはその大部分に施し、残り半分程度には細い帯状に配して、面積を最小限におさえる。

20 布状補強材411を製造の過程で筒状体4の側面に張り付けることは製作工程上無理が無く、比較的低コストで実現できる。布状補強材411は筒状体4の全面に施すことも可能であるが、使用感の良さを確保するためには出来る限り少ない面積とすることが望まれる。補強材を施さずに筒状体4を肉厚に形成するか、筒状体4の全体あるいは一部の材質を伸縮性の乏しいものに置き換えても同様の効果を発揮する。

25 第6図は筒状体4の使用時に於ける切断面の構造を示す断面図である。布状補強材411は使用時に於ける外側つまり膣側に位置して配さ

れる。このことにより、自然な触感のコンドームが実現できる。

第7図は実施例2に於ける筒状体4の一部断面を含む斜視図による拡大図である。膣に挿入する筒状体4の胴部に配する伸縮を押さえる補強手段41を柔軟な素材による紐412とし、網目状に配した例を示すものである。切断位置は第3図のXX線上と同様である。紐412を糸や帯413に入れ替えてもほぼ同様の形状を示す。

膣に挿入する筒状体4の胴部膣側に柔軟な素材による糸、紐412あるいは帯413を、螺旋もしくは網目状に配することにより、筒を補強するとともに糸、紐412あるいは帯413が膣の内壁との摩擦抵抗を高め、膣に対するコンドームの位置のずれを防ぐ事が出来る。

また、使用時には紐412や帯413が筒状体4の内側にも盛り上がることからペニスとコンドームの接触面積を減らし、ペニスにコンドームが張り付くことを防ぐ。以上のことによりコンドームの膣に対する位置のずれと変形を押さえることができる。

第8図は筒状体4の胴部に柔軟な素材による紐412を配した実施例2に於ける筒状体4を長手方向に対し垂直に切断して示した拡大断面図である。紐412が膣の内壁との摩擦抵抗を高め、膣と筒状体の位置のずれを防ぐ。又、紐412が筒状体4の内側にも凸部を形成することから、筒状体4とペニスとの接触面を減らしペニスに筒状体4を形成するゴム状の薄膜が張りつくことを防ぐ。

筒状体4を形成するゴム状の薄膜と紐412との間に隙間414を形成し、膣分泌液を吸収する。ペニスの挿入運動によって膣分泌液は膣外に押し出される。

第9図は筒状体4の胴部に柔軟な素材による帯413を配した実施例3に於ける筒状体4を長手方向に対し垂直に切断して示した拡大断面図である。切断位置は第3図のXX線上と同様である。

帯 4 1 3 が膣との摩擦抵抗を高め、膣と筒状体の位置のずれを防ぐ。

紐 4 1 2 の代わりに帯 4 1 3 に替えても効果に大きな違いは生じないが、筒状体 4 の形状を安定させ、筒状体 4 を形成するゴムの薄膜とペニスが張りつくことを防ぐ効果を高める。

- 5 糸、紐 4 1 2 あるいは帯 4 1 3 が膣の内壁との摩擦抵抗を高め、膣と筒状体の位置のずれを押さえ、コンドームの変形とそれを原因とする破損を防ぐと共に、補強効果を有することから製品の薄型化が図れ、使用感の向上が実現できる。

- 10 第 10 図は細い溝 4 1 5 を形成した柔軟な素材による紐 4 1 2 を筒状体 4 の胴部に配した実施例 4 に於ける筒状体 4 を長手方向に対し垂直に切断して示した拡大断面図である。切断位置は第 3 図の X X 線上と同様である。

- 15 紐 4 1 2 に刻まれた細い溝 4 1 5 が膣分泌液の吸収する効果が生じる。このことによりコンドームと膣の摩擦抵抗を増し、コンドームの膣に対する位置のずれを押さえ、コンドームの変形を防ぐ効果が生じる。

第 11 図は細い溝 4 1 5 ・細い溝 4 1 6 及び細い溝 4 1 7 を形成した柔軟な素材による帯 4 1 3 を筒状体 4 の胴部に配した実施例 5 に於ける筒状体 4 を長手方向に対し垂直に切断して示した断面図である。切断位置は第 3 図の X X 線上と同様である。

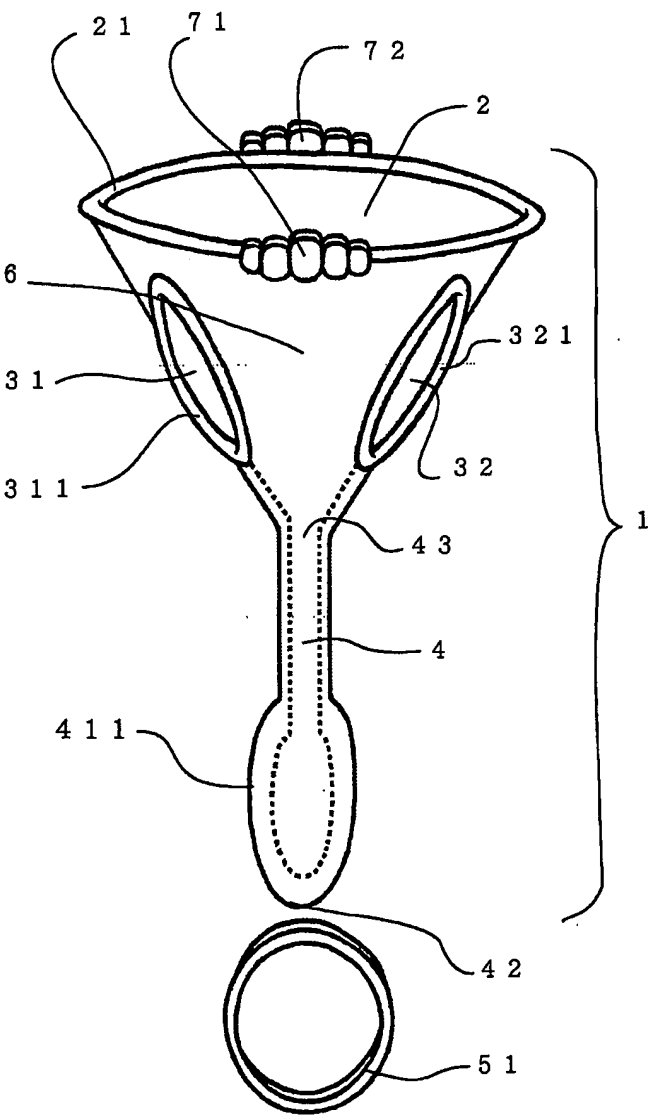
- 20 紐 4 1 2 の代わりに帯 4 1 3 に替えても効果に大きな違いは生じないが、細い溝 4 1 6 及び細い溝 4 1 7 を刻むことが出来、溝の数が増やせることから膣内分泌液の吸収力を高め、摩擦抵抗を高める。

- 25 紐 4 1 2 に刻まれた細い溝 4 1 5 及び、帯 4 1 3 に刻まれた細い溝 4 1 5、細い溝 4 1 6 が膣分泌液を吸収する効果を持つことからコンドームと膣の摩擦抵抗を増し、コンドームの膣に対する位置のずれを押さえ、コンドームの変形とそれを原因とする破損を防ぐ効果が生じる。

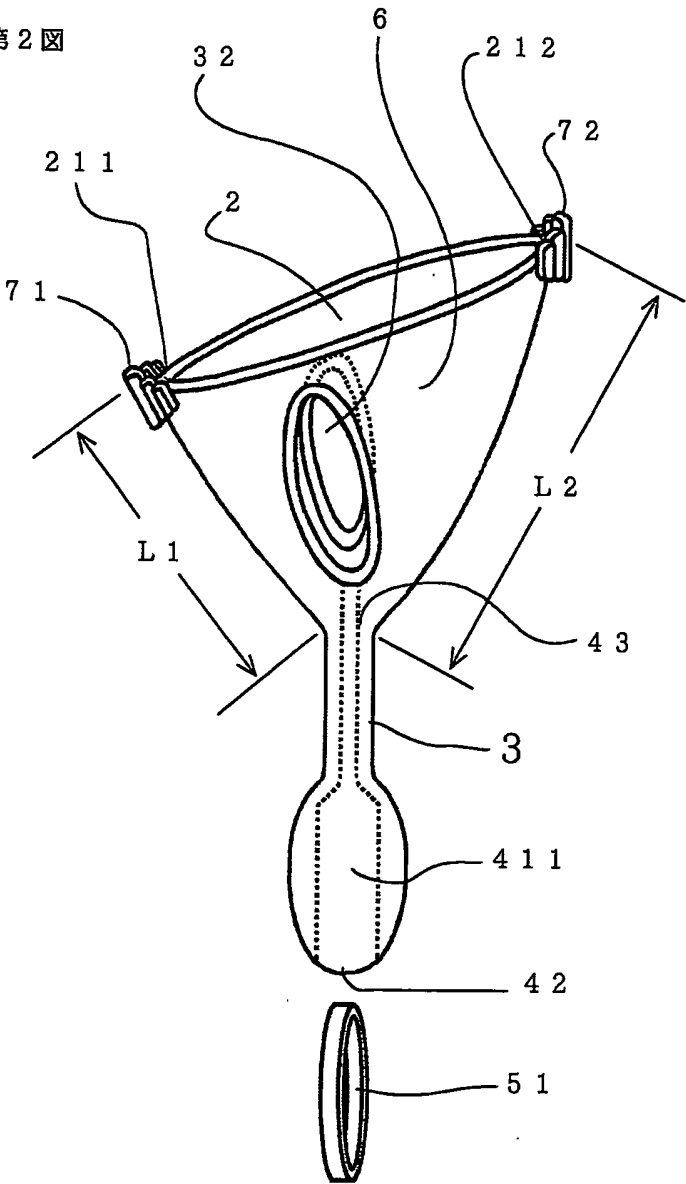
請 求 の 範 囲

1. 伸縮性に富む柔軟な材質の薄膜で成形された上部に開口部を設けた袋状体であり、この開口部近くの側面に2カ所の穴を形成し、袋状体の下部を膣内挿入可能な筒状体とし、膣内固定具を配してある女性装着型
5 コンドーム。
2. 筒状体の全体もしくは一部に伸縮を押さえるための補強手段を配した請求項1に記載する女性装着型コンドーム。
3. 少なくとも、筒状体の装着時に於ける膣開口部に位置する付近をロ
10 ート状に形成した請求項1、2に記載する女性装着型コンドーム。
4. 伸縮を押さえるための補強手段を布状薄膜とする請求項2に記載する女性装着型コンドーム。
5. 袋状体の開口部に袋状体を巻き取るための巻き取り具を配した請求
項1、2、3、4に記載する女性装着型コンドーム。
- 15 6. 膣に挿入する筒状体の胴部に、柔軟な素材による糸、紐あるいは帯を、螺旋もしくは網目状に配した請求項1、2、3、5に記載する女性装着型コンドーム。
7. 長手方向に切れ込みを入れて細い溝を形成した紐あるいは帯を有する請求項6に記載した女性装着型コンドーム。

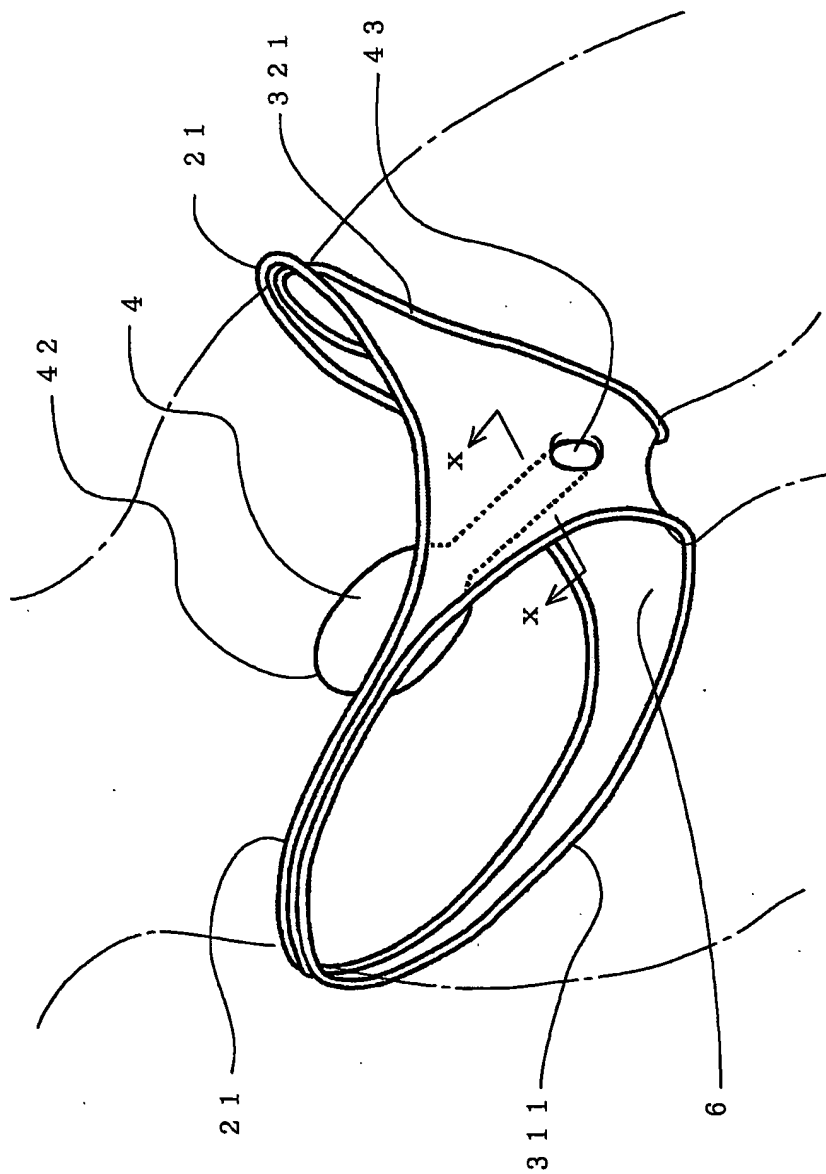
第 1 図



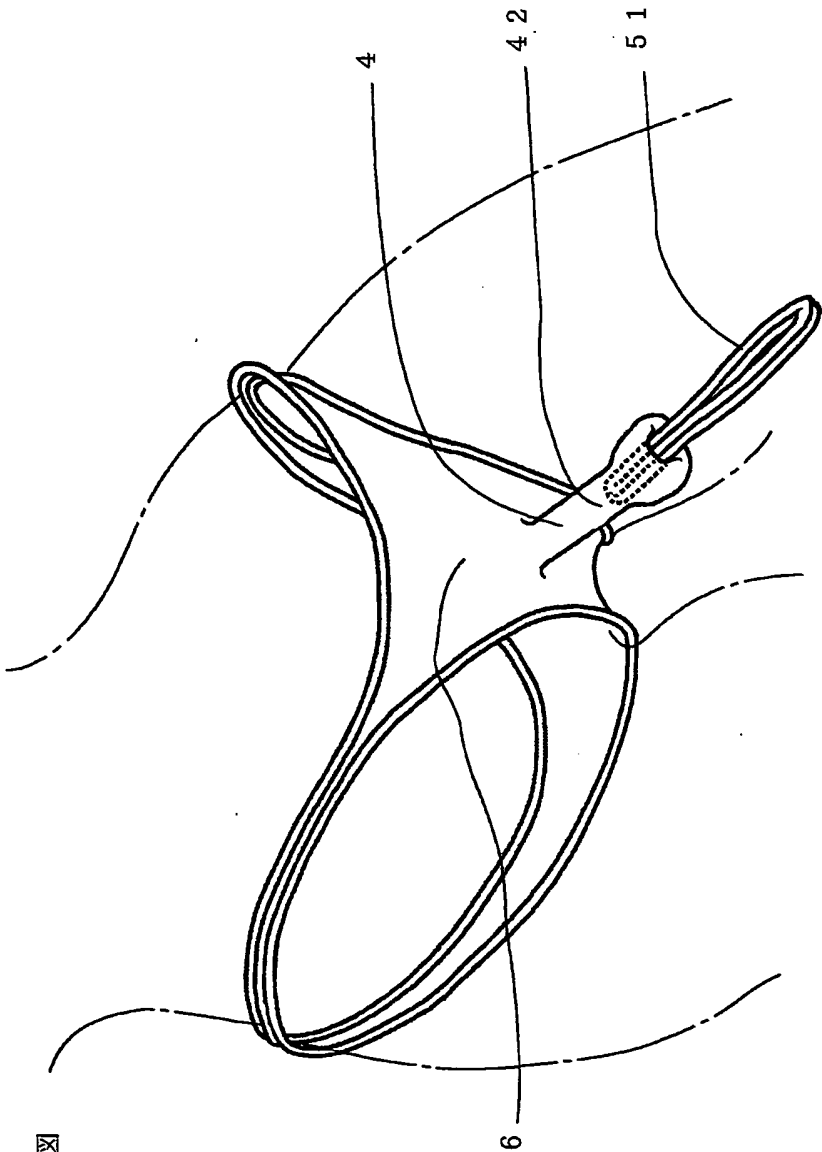
第 2 図



3 / 9

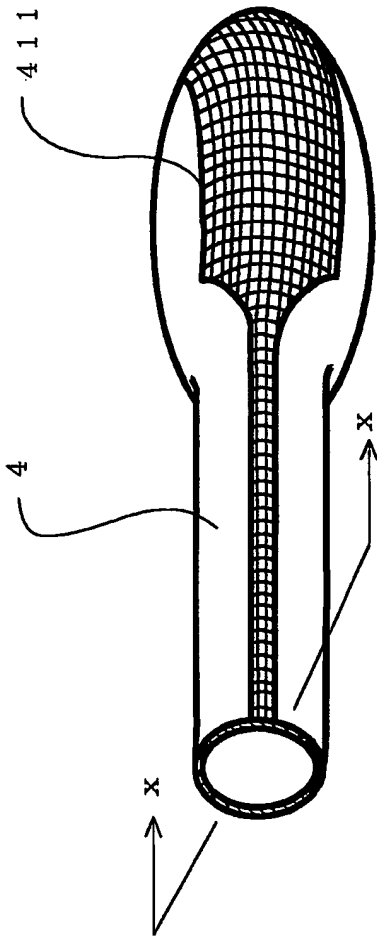


第3図



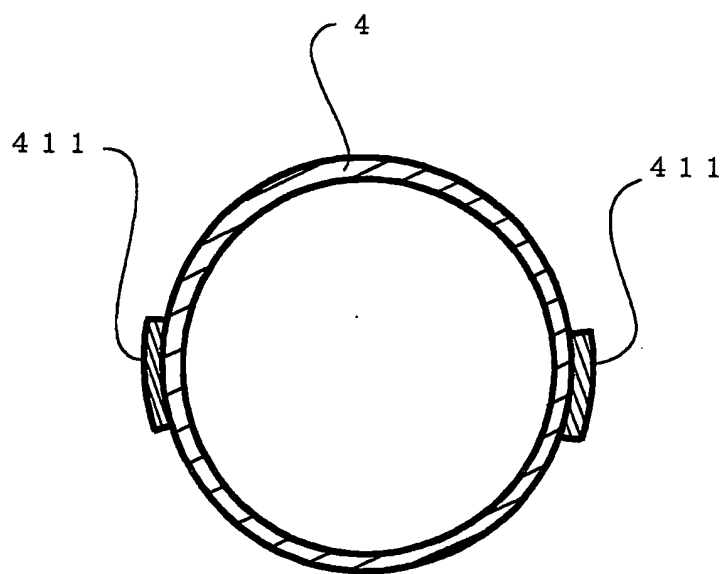
第4図

第5図

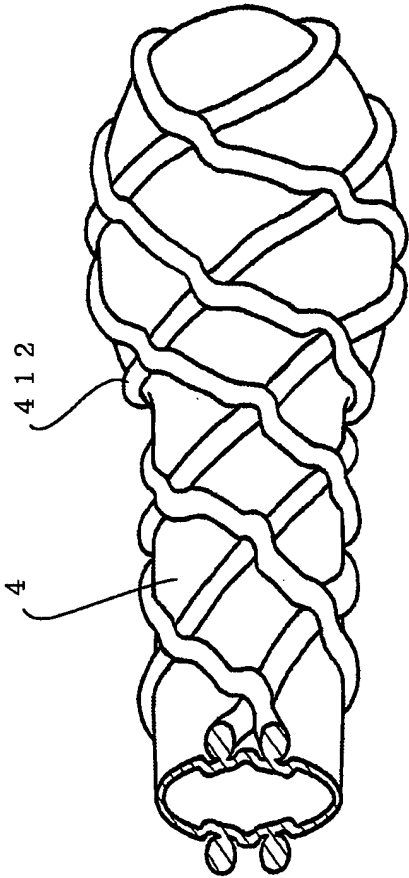


6 / 9

第 6 図

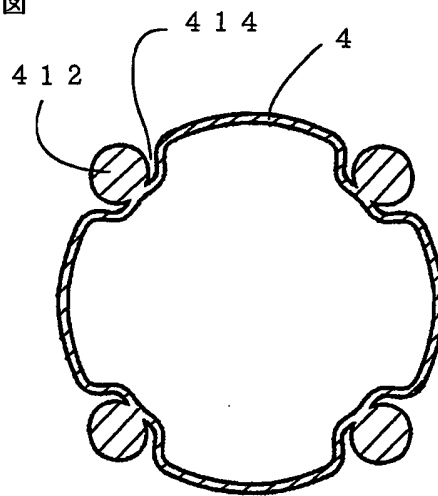


第 7 図

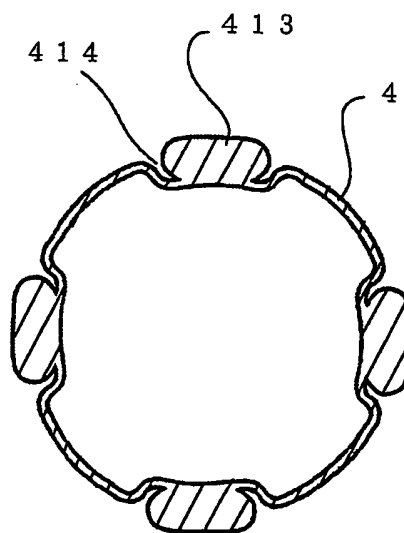


8 / 9

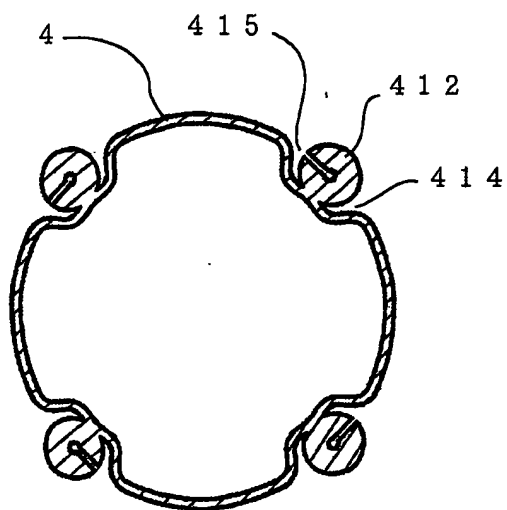
第 8 図



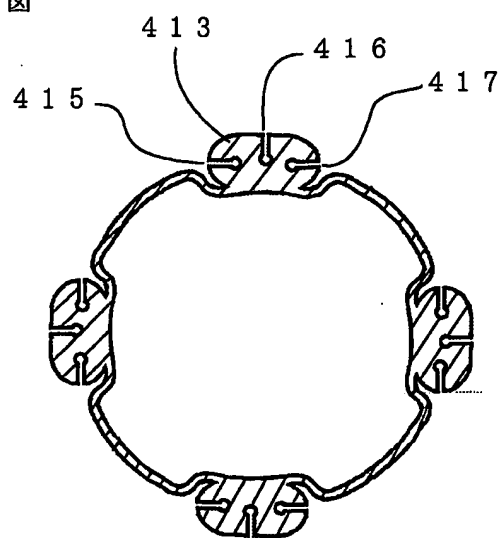
第 9 図



第 10 図



第 11 図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/06676

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A61F6/06

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A61F6/06, A61F6/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1940-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 98/29062 A1 (ALLA, Ravikumar), 09 July, 1998 (09.07.98), Full text; all drawings & JP 2001-507600 A & US 6035853 A1	1, 3, 5
Y	WO 89/01323 A1 (REDDY, Alla, Venkata, Krishna), 23 February, 1989 (23.02.89), Full text; all drawings & JP 4-502710 A & US 4834113 A1	1, 3, 5
Y	US 4875490 A (Roberto Quiroz), 24 October, 1989 (24.10.89), Full text; all drawings & JP 2-144057 A & EP 0358373 A1	1

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search
11 September, 2002 (11.09.02)

Date of mailing of the international search report
01 October, 2002 (01.10.02)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/06676

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 4735621 A1 (Lasse Hessel), 05 April, 1988 (05.04.88), Full text; all drawings & JP 63-216562 A & WO 88/06432 A1	1
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 109009/1987 (Laid-open No. 17225/1989) (Shigemi ISHIDA), 27 January, 1989 (27.01.89), Full text; Fig. 1 (Family: none)	1
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 9244/1971 (Laid-open No. 9299/1972) (Kunihiko OGASAWARA), 04 October, 1972 (04.10.72), Full text; all drawings (Family: none)	2, 4
A	JP 358535 Z2 (Sakuhei SUWA), 30 November, 1956 (30.11.56), Full text; all drawings (Family: none)	2

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F 6/06

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F 6/06、A61F 6/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1940-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2002年

日本国登録実用新案公報 1994-2002年

日本国実用新案登録公報 1996-2002年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	WO 98/29062 A1 (ALLA, Ravikumar) 1998. 07. 09, 全文、全図 & JP 2001-507600 A & US 6035853 A1	1, 3, 5
Y	WO 89/01323 A1 (REDDY, Alla, Venkata, Krishna) 1989. 02. 23, 全文、全図 & JP 4-502710 A & US 4834113 A1	1, 3, 5

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

11. 09. 02

国際調査報告の発送日

01.10.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

新井 克夫



3E 8010

電話番号 03-3581-1101 内線 3344

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	US 4875490 A (Roberto Quiroz) 1989. 10. 24, 全文、全図 &JP 2-144057 A &EP 0358373 A1	1
Y	US 4735621 A1 (Lasse Hessel) 1988. 04. 05, 全文、全図 &JP 63-216562 A &WO 88/06432 A1	1
Y	日本国実用新案登録出願62-109009号 (日本国実用新案登録出願公開64-17225号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (石田茂美) 1989. 01. 27, 全文、第1図 (ファミリーなし)	1
Y	日本国実用新案登録出願46-9244号 (日本国実用新案登録出願公開47-9299号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (小笠原邦彦) 1972. 10. 04, 全文、全図 (ファミリーなし)	2, 4
A	JP 358535 Z2 (諏訪作平) 1956. 11. 30, 全文、全図 (ファミリーなし)	2

THIS PAGE BLANK (USPTO)